

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《住みよい町について考えよう》
- 2 単元名 『西江原環境調査隊』（全2 5 時間＝実施時期：5 月～2 月）
- 3 単元のねらい * 本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け（主な素材・活動等）を明確に

井原市の環境問題やゴミ問題について調べ、地域の方やごみ収集に携わる方との交流を通して、だれもが住みやすい環境に優しい町のあり方について考える。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		社会科で学習したことをもとに、動画を見ながら、環境問題について考えていこうという課題をつかむ。	井原市環境保全の方の話を聞いたり、ごみ収集についての体験活動をしたり、インターネットや図書で調べ学習を行ったりする。	みんなが住みよい西江原にするためには、どんなことに気をつけたりどのような工夫をすればよいか考え、提案する。	学習したことをスライド作成し、保護者や他学年に、クイズ形式や寸劇にするなど工夫して発表した。
引き出したい姿	いばら愛 （郷土愛と当事者性）	井原市の具体的な課題に気付き、興味をもって調べようとする。	当事者意識をもって井原市の環境問題の現状について知ろうとする。		
	やり抜く力 （忍耐と向上心）			地域の方に喜んでもらえるような取組を一生懸命考える。	環境問題について活動されている方に対して、積極的にかかわろうとする。
	まき込む力 （発信と協働）		環境企画課の方や地域の方を中心に、環境を守るために取り組んでおられる方と交流する。		だれもが住みやすい西江原にするためにどうすればよいかを地域に提案する。
仕掛け・工夫	もの		ごみの分別体験やパッカー車体験等を通じてその方法や仕組みについて知る。		
	ひと	環境企画課の方を招き、井原市のゴミ問題について話を聞く。			西江原の環境を守るために自分たちにできることを行い、活動を振り返る。
	しごと （こと）		井原市環境保全の方から、ごみ収集で気を付けていることや苦労していること、環境問題に対する思いなどの気持ちを聞く。	今の課題を解決するために、どのような取組や工夫ができるのか調べ、自分たちでできることを考える。	

5 他教科・領域、学校行事等との関連

社会科「健康な暮らしを守る仕事」「私たちの住んでいる県」
国語科「調べて話そう 生活調査隊」「聞き取りメモの工夫」

6 他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

井原市環境保全（株）、井原市環境企画課

西江原小学校・4年 単元名『西江原環境調査隊』の流れ（探究過程）と活動の実際 担当【有道 幸宏】

◆単元のねらい「井原市の環境問題やゴミ問題について調べ、地域の方やごみ収集に携わる方との交流を通して、だれもが住みやすい環境に優しい町のあり方について考える。」

課題設定

世界・日本で起こっている環境問題について知る。



自分たちが住んでいる井原市や西江原の環境について調べ関心をもつ。

情報収集

インターネットで資料や動画を見て、環境問題について調べる。



井原市環境保全の方、井原市環境企画課の方を招き、井原市のごみ収集の仕組みや現在の環境問題について教わった。ごみの分別体験やパッカー車体験を行い、環境への意識や、働いている人の苦労などを実感した。

整理・分析

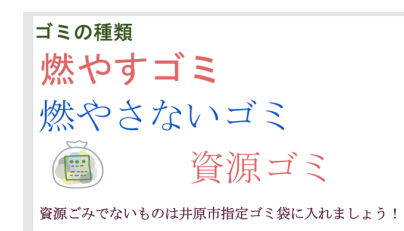
教わったことをもとに、環境保全のために自分たちにどのような取組ができるかを考えた。



いただいた資料や、井原市のホームページ、学校の図書を活用しながら取組を考えた。



まとめたことをスライド作成した。



井原市ホームページ



まとめ・表現



学習発表会で、保護者や他学年に調べたことを、クイズ形式や寸劇にするなど工夫して発表した。

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

○調べ学習をしっかりと行い、環境保全のためにどのようなことが大切かということを知ることができた。井原市の環境問題やごみ問題について調べ、実際に環境保全に関わる仕事をしている人と関わる中で、環境保全の大切さや働いている人の思いを知るとともに、苦労などを実感することができた。

△地域の方々を巻き込んで環境問題について訴えたり、環境保全への取組を行ったりする機会を十分につくれなかった。調べ学習はしっかりとできたが、具体的な取組を十分に行うことができなかった。コロナ禍でリサイクルセンターの見学ができなかった。

☆地域の方々に伝える場を設定する。